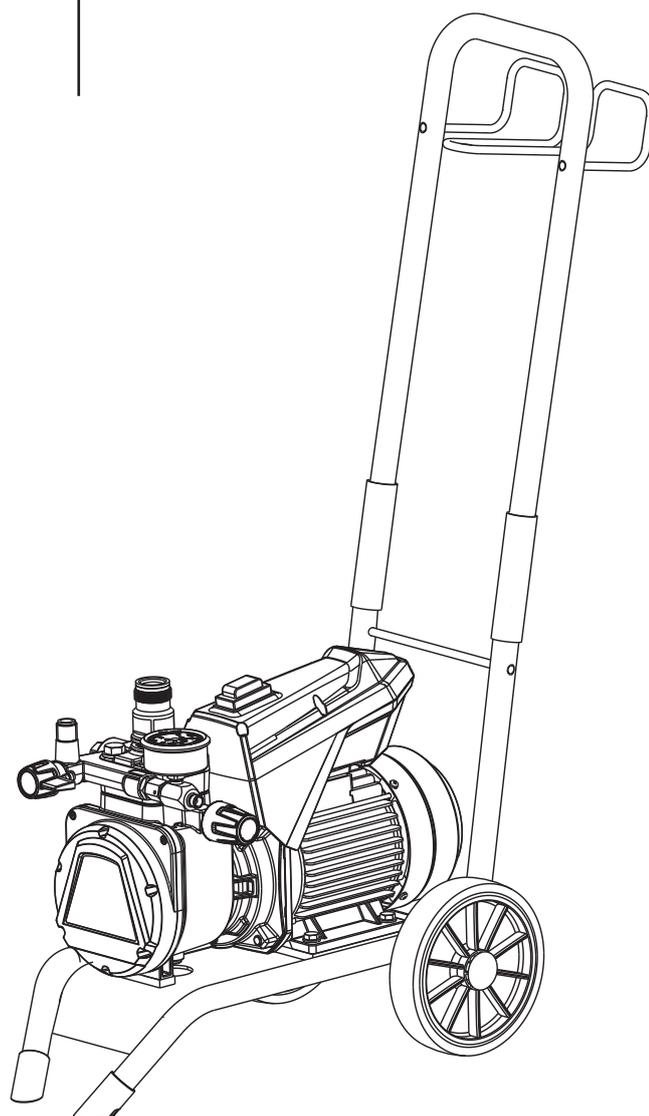


WAGNER

電動式ダイアフラムエアレス塗装機

操作説明書

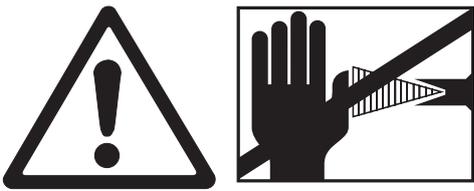
Hero 23



警告

塗装機を安全にお使い頂くために、必ず次の注意事項をよくお読みください。

正しい手順で扱わないと、場合によっては重大な事故を引き起こすことがあります。

		この記号は、使用者または機器に対する潜在的な危険性を示します。この記号の下には、怪我や機器の損傷を防ぐために重要な情報が記載されています。
①		<p>指や手、その他の身体の部位が絶対にスプレー噴霧にかからないようにしてください。エアレススプレーガンは自分や他の人、動物には絶対に向けないでください。エアレススプレーガンを使用する際は、スプレー噴霧がかからないように必ず保護具を着用してください。</p> <p>スプレーにより負傷した際は、絶対に普通の切り傷と同じような処置をしてはいけません。塗料や溶剤によって皮膚を負傷した場合はただちに病院に行き、専門医の治療を受けてください。そのとき、使用した塗料や溶剤を忘れず専門医に教えてください。</p>
②		<p>本機の使用開始前には、必ず操作説明書に従って次の点を確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 不具合がある場合は、本機の使用を避けてください。2. エアレススプレーガンのトリガーを安全レバーでロックします。3. スプレー作業は必ずエアレススプレーガンのノズルガードおよび安全カバーをつけて行ってください。4. 接地(アース)を必ずとってください。5. 塗料ホースとエアレススプレーガンの作動圧力が許容範囲内であるか確認します。6. 塗料ホース、チューブ、ホース金具は毎日点検し、摩耗や傷がある場合はすぐに交換してください。7. すべての接続箇所に漏れがないか確認してください。
③		<p>本機の定期的な洗浄と整備の指示を必ず厳守してください。</p> <p>本機での作業を開始する前および一時停止時には、必ず次の規則を守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. エアレススプレーガンと塗料ホースの圧力を抜きます。2. ワグナー製エアレススプレーガンのトリガーを安全レバーでロックします。3. 電源を切ります。

その他記号

	この記号は使用上のコツや便利なヒントを示します。
---	--------------------------

目次

1	エアレス塗装機の安全規定	4	5	塗装テクニック	12
1.1	引火点 [塗料および溶剤による危険]	4	6	塗料ホースの取扱い	13
1.2	防爆	4	7	作業の中断	13
1.3	点火源による爆発および火災のおそれ	4	8	洗浄	14
1.4	スプレー噴霧による負傷のおそれ	4	8.1	外側からの洗浄	15
1.5	意図しない操作を防ぐエアレススプレーガンのロック	4	8.2	サクシオンフィルター	15
1.6	エアレススプレーガンの反動	4	8.3	高圧フィルター (オプション)	15
1.7	溶剤蒸気からの呼吸保護	4	8.4	エアレススプレーガンの洗浄	16
1.8	労災の予防	4	9	メンテナンス	16
1.9	最大作動圧力	5	9.1	一般的なメンテナンス	16
1.10	塗料ホース	5	9.2	塗料ホース	16
1.11	静電気の帯電 (火花や炎の発生)	5	10	修理	17
1.12	本機のコンセントの負荷	5	10.1	吸入弁	17
1.13	室内作業時の換気	5	10.2	吐出弁	18
1.14	排気設備	5	10.3	圧力調整弁	18
1.15	被塗物の接地 (アース)	5	10.4	電源ケーブルの交換	19
1.16	溶剤を用いた洗浄	5	10.5	典型的な摩耗部品	19
1.17	塗装機の洗浄	5	10.6	電気配線図	20
1.18	電気設備の整備または修理	5	10.7	トラブルシューティング	21
1.19	電気部品のメンテナンス	5	11	交換部品とアクセサリ	22
1.20	床が平坦でない場合	6	11.1	HERO 23 のアクセサリ	22
2	使用の概要	6	11.2	HERO 23 の交換部品	26
2.1	概要	6	11.3	高圧フィルター (アクセサリ) の交換部品リスト	28
2.2	塗料	6	11.4	ホッパーの交換部品リスト	28
2.2.1	研磨性の添加剤を含む塗料	6	11.5	トロリーの交換部品リスト	29
2.2.2	フィルター処理	7	11.6	サクシオンシステムの交換部品リスト	30
3	本機についての説明	7	機器の点検	31	
3.1	エアレス塗装	7	廃棄に関する注意	31	
3.2	本機の機能	7	製造物責任に関する重要事項	31	
3.3	説明図	8	保証書	31	
3.4	牽引バーの調整	9			
3.5	技術データ	9			
4	使用開始	10			
4.1	サクシオンシステム付きの場合	10			
4.2	ホッパー 付きの場合	10			
4.3	塗料ホースとエアレススプレーガン	10			
4.4	電源接続	10			
4.5	初使用開始の手順	11			
4.6	吸入弁から音が聞こえない場合の塗装機 (油圧システム) のエア抜き	11			
4.7	塗料充填後の始動	11			

安全規定

1 エアレス塗装機の安全規定

各地域で適用されている安全要件に従ってください。

エアレス高圧塗装機を安全にご使用頂くため、以下の安全規定を順守してください。

1.1 引火点 [塗料および溶剤による危険]

	<p>引火点が21℃以上の塗料および溶剤のみを使用してください。 引火点とは、塗料から蒸気が発生する最低温度です。塗料から発生した空気とこの蒸気が混ざり合うと、可燃性の混合物が形成されます。 使用する液体の毒性を確認してください。保管は国や自治体の規定に従い管理してください。</p>
--	--

1.2 防爆

	<p>防爆規定事項に適合しない作業場では本機を使用しないでください。本機は防爆仕様ではありません。 本機を爆発の危険がある領域で使用しないでください。爆発の危険がある領域とは、塗料の保管場所や被塗物の周辺です。本機は被塗物から3m以上離れた場所に設置してください。</p>
--	--

1.3 点火源による爆発および火災のおそれ

	<p>本機を炎、喫煙中のタバコやパイプ、火花、熱線、高温面などの点火源の近くで使用しないでください。</p>
--	--

1.4 スプレー噴霧による負傷のおそれ

	<p>スプレーにより怪我をするおそれがあります。エアレススプレーガンは自分や他の人、動物には絶対に向けないでください。 エアレススプレーガンを使用する際は、スプレー噴霧がかからないように必ず保護具を着用してください。 スプレー噴霧が身体にかからないようにしてください。 エアレススプレーガンの高圧スプレー噴霧によって重度の負傷を負う恐れがあります。スプレー噴霧が身体にかかると、塗料が皮膚内に入り込むことがあります。スプレーによる負傷の際は、絶対に普通の切り傷と同じような処置をしてはいけません。 塗料や溶剤によって皮膚を負傷した場合はただちに病院に行き、専門医の治療を受けてください。そのとき、使用した塗料や溶剤を医者に知らせてください。</p>
	

1.5 意図しない操作を防ぐエアレススプレーガンのロック

ノズルを取り付けたり取り外す際、そして作業中断時には、エアレススプレーガンの安全ロックを必ずロックしてください。

1.6 エアレススプレーガンの反動

	<p>高圧力でスプレー作業する場合、トリガーを引くと最大15 Nの反動があります。 反動に備えていないと、手に反動を受けたり、身体のバランスを失うおそれがあります。その結果、負傷につながる可能性があります。</p>
---	---

1.7 溶剤蒸気からの呼吸保護

スプレー作業時には呼吸保護マスクを着用してください。本機使用者には呼吸保護マスクを供給してください。

1.8 労災の予防

皮膚を保護するため、防護服、手袋、場合に応じてハンドクリームが必要になります。
塗装機の準備、運転、洗浄の際には、塗料メーカーおよび溶剤/洗剤メーカーの指示事項に従ってください。

1.9 最大作動圧力

エアレススプレーガン、エアレススプレーガンのアクセサリおよび塗料ホースの許容作動圧力は、本機に指定されている最大作動圧力 (21 MPa) を下回ってはいけません。

1.10 塗料ホース

	スプレー噴霧により怪我をするおそれがあります。塗料ホースが摩耗したり折り曲げられた場合、あるいは不適切に使用された場合、ホースに漏れが生じることがあります。その際、漏れの箇所から皮膚内に液体が入り込むおそれがあります。
---	---

- 塗料ホースは使用前に必ず入念な点検を行ってください。
- 損傷がある塗料ホースはただちに取替えてください。
- 欠陥のある塗料ホースを絶対に自分で修理しないでください。
- 鋭角に曲げたり折り曲げないでください。
- 塗料ホースを踏まないでください。尖った物や角で擦れないように保護してください。
- 塗料ホースを引っ張って塗装機を動かすことは絶対におやめください。
- 塗料ホースをねじらないでください。
- 塗料ホースを溶剤に入れしないでください。お手入れには、湿らせた布で外側を拭いてください。
- 塗料ホースを取り回す際は、人や物に引っかかたりしないように注意してください。

	機能性、安全性および耐久性の理由から、ワグナー製の純正の塗料ホースのみを使用してください。
---	---

1.11 静電気の帯電 (火花や炎の発生)

	スプレーされる塗料の流動により、場合によっては塗装機に静電気が帯電し、放電して火花や炎が発生することがあります。そのため、塗装機は必ず接地(アース)する必要があります。必ず接地(アース)をとってください。
---	--

エアレススプレーガンおよび塗料ホースに帯電された静電気は、塗料ホースによって除去されます。そのため、塗料ホースのジョイント間の電気抵抗は1メガオーム以下でなければなりません。

1.12 本機のコンセントの負荷

ケーブルリールを使用して電源を延長する場合は、ケーブルをリールから完全に引き出してください。

1.13 室内作業時の換気

溶剤の蒸気が排出されるように十分な換気を行ってください。

1.14 排気設備

本機使用地域の法規に従って適切に設置してください。

1.15 被塗物の接地(アース)

被塗物は接地(アース)してください(通常、建物の壁は自然に接地(アース)されています)。

1.16 溶剤を用いた洗浄

	溶剤を用いて本機を洗浄する際は、小さい開口部(注入口)付きの容器内に溶剤をスプレーしたりポンプで注入してはいけません。爆発の危険がある気体/混合物が生じるおそれがあります。容器は接地(アース)してください。爆発性のガス/空気の混合物の形成による危険があります。容器は接地(アース)を行う必要があります。
---	---

1.17 塗装機の洗浄

	水が侵入してショートするおそれがあります。機械本体の洗浄には絶対に高圧洗浄機や高圧スチームクリーナーを使用しないでください。
---	--

1.18 電気設備の整備または修理

これらの作業は電気技術士のみが行ってください。不適切に設置された塗装機に対しては当社は一切の責任を負いません。

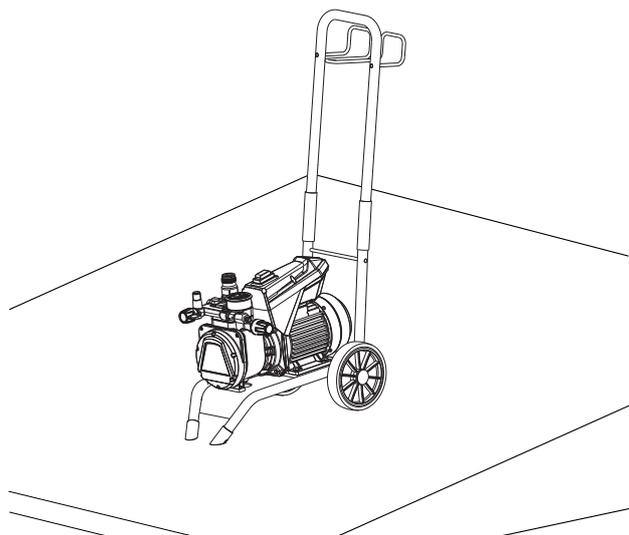
1.19 電気部品のメンテナンス

メンテナンス作業の際には必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

使用の概要

1.20 床が平坦でない場合

滑り落ちないように、前面を下に向けて設置してください。傾斜面では塗装機を作動しないでください。振動により移動するおそれがあります。



2 使用の概要

2.1 概要

Hero 23 は、さまざまな種類の塗料を空気を使わず(エアレス) スプレーするための電動機器です。本機は圧送ローラーにも対応しており、そのための専用アクセサリーもご用意しております。

Hero 23は作業場でも建設現場でも使用できます。

Hero 23は室内および屋外領域で中小サイズの物に対してエマルジョン塗料の処理ができるように機器の出力が設計されています。

ラッカー塗装では以下のような物を対象にしたあらゆる通常作業に適しています：

ドア、ドアのフレーム、手すり、家具、羽目板、フェンス、ラジエーター、スチール部品。

ラッカー作業の場合はホッパーの使用を推奨します。

2.2 塗料

使用可能な塗料

水性/溶剤系塗料、二液性塗料、エマルジョン塗料

注意：

1. 二液性塗料
 可使時間を厳守し、この時間内に適切な洗浄剤で塗料通過部分を丁寧に洗浄してください。硬化した塗料は溶解できません。ポンプ内で硬化すると、塗料ポンプの交換修理となります。
2. 顔料の多い塗料(ジンクリッチ系塗料等)
 顔料には研磨作用があり、吸入・吐出弁、エアレススプレーガン、ノズルチップの摩耗は短時間で発生します。修理にもかなりの部品交換を必要とします。

他の塗料の処理は、それによって機器の耐久性や安全性が損われる可能性もあるので、必ずワグナー社に事前の問い合わせを行ってください。



処理する塗料のエアレス品質に注意してください。

本機は最大20,000mPasまでの粘度の塗料を処理できます。高粘度塗料の場合、スプレー性能が大幅に低下してしまうので、メーカーの情報に従って希釈する必要があります。

塗料はよく攪拌してから使用してください。



注意：塗料を攪拌する際、特に電動攪拌機を使って攪拌する場合は、気泡が生じないように注意してください。気泡はスプレーの妨げになり、本機の運転が停止することもあります。

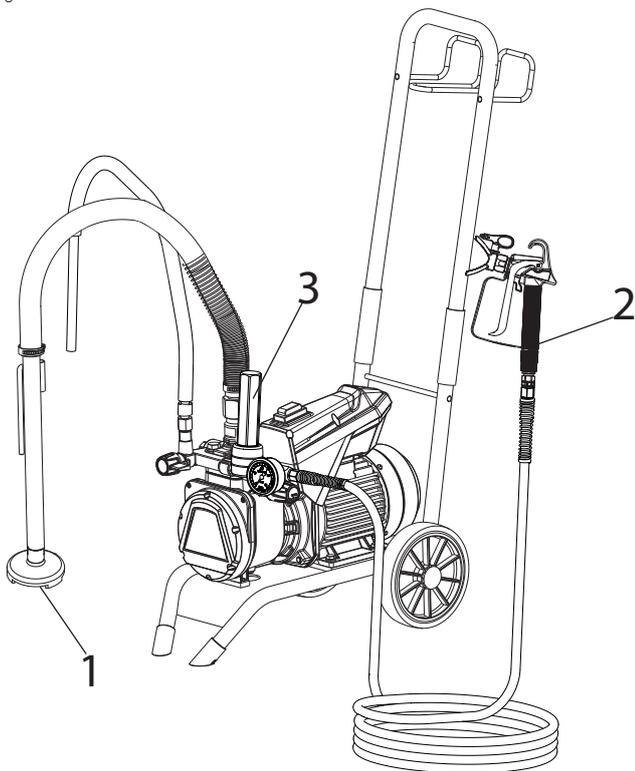
2.2.1 研磨性の添加剤を含む塗料

こうした塗料の粒子はバルブやノズル、そしてスプレーガンに対しても強力な研磨作用をもっています。これらの摩耗部品の寿命はそれによって大幅に損なわれます。

2.2.2 フィルター処理

本機が支障なく動作するためには、十分なフィルター処理によって異物を取り除く必要があります。そのため、本機にはサクションフィルター (1) と、エアレススプレーガン内の差し込み式フィルター (2) が装備されています。これらのフィルターが損傷したり汚れていないかを定期的に点検することを強くお勧めします。

さらにアクセサリ (別売) の高圧フィルター (3) によってフィルター面積が広くなり、塗装機での作業が容易になります。



3 本機についての説明

3.1 エアレス塗装

主な応用分野は高粘度塗料の厚膜塗装です。

Hero 23 は、ダイアフラムポンプによって吸入した塗料を塗料ホースからエアレスノズル付きエアレススプレーガンに供給する仕組みになっています。塗料には最大21 MPa (210 bar) の圧力が加えられ、ノズルチップから押し出されてスプレーされます。その際、塗料は高圧により微粒化されてスプレーされます。

エアレス塗装は空気を使わずにスプレーする手法です。この方法でスプレーすると、塗料粒子が細くなる一方で塗料の飛散が少なくなり (塗装機の設定を適切に行っている場合)、滑らかで気泡のない塗装面に仕上がります。この他にも、高い作業効率や作業の快適性という長所があります。

3.2 本機の機能

機能の理解を深めるため、まず本機の構造を簡単に説明します。

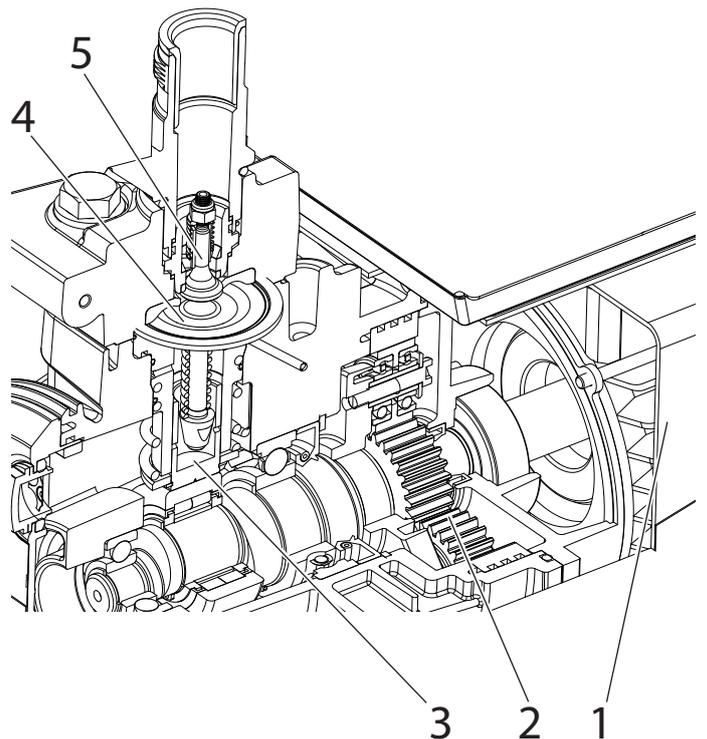
Hero 23 は電動式の高圧エアレス塗装機です。

作動時には、電動モーター (1) が遊星ギアヘッド (2) によって油圧ポンプを駆動します。そして、ピストン (3) の上下運動によってダイアフラム (4) の下に油圧オイルが供給され、それを受けてダイアフラムが動きます。

具体的には、ダイアフラムが下降することで吸入弁 (5) が自動的に開き、塗料が吸入されます。ダイアフラムが上昇すると塗料が排出され、吸入弁が閉じる一方で球状の吐出弁が開きます。

塗料は高圧力で塗料ホースを通してエアレススプレーガンまで送られ、ノズルから出る際に霧化されます。

油圧オイル回路内の圧力は圧力調整弁によって所定の圧力に制限され、それと同時に塗料の圧力も制限されます。圧力を変更すると、同じノズルを使用していても噴霧される塗料の量が変化することがあります。



本機についての説明

3.3 説明図

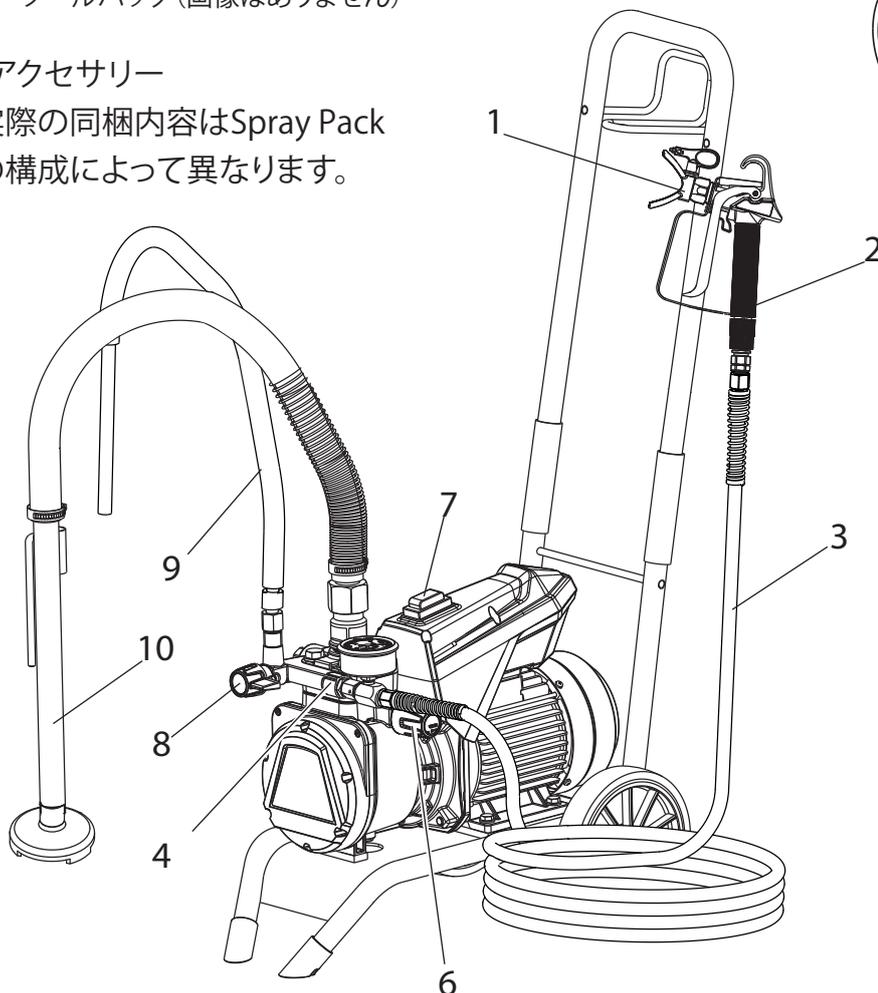
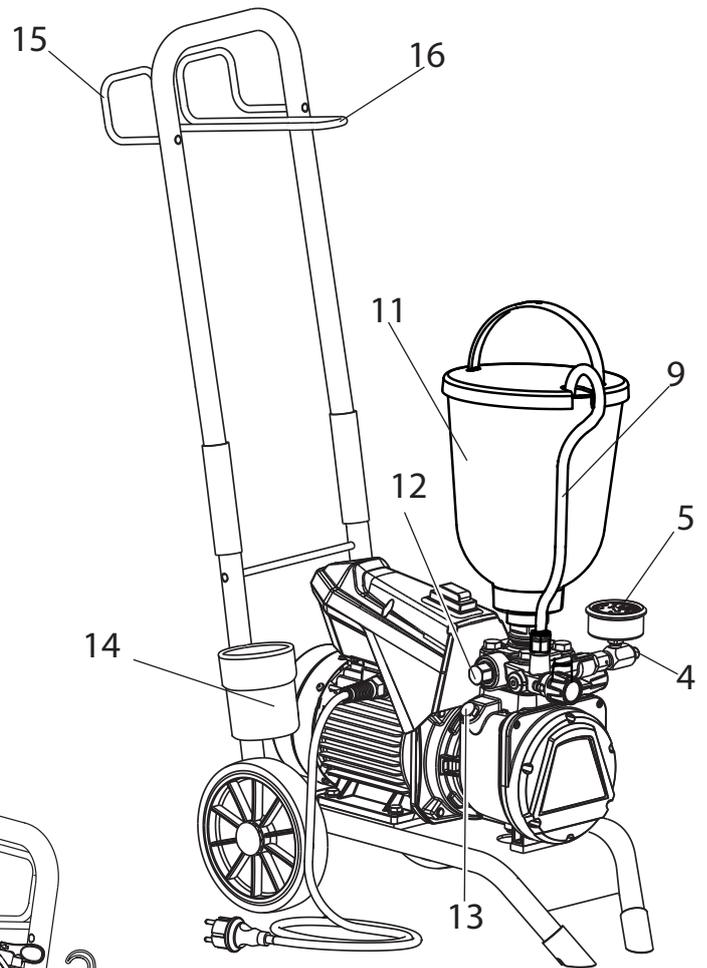
- 1 トレードチップ*
- 2 エアレススプレーガン*
- 3 塗料ホース*
- 4 塗料ホースジョイント
- 5 圧力計*
- 6 圧力調整弁
- 7 ON/OFF スイッチ
- 8 リリーフバルブ:



- 9 リターンホース*
- 10 吸入ホースセット*
- 11 ホッパー*
- 12 吐出弁
- 13 オイルサイトグラス
- 14 洗浄タンク
- 15 ホースホルダー
- 16 ガンホルダー
- 17 ツールバッグ (画像はありません)

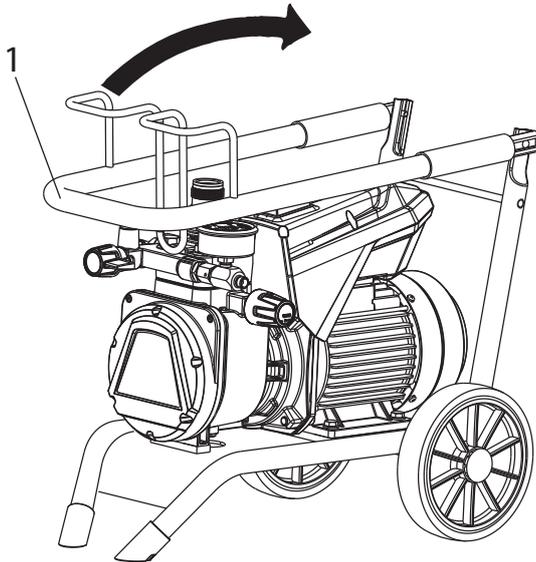
*アクセサリー

実際の同梱内容はSpray Packの構成によって異なります。

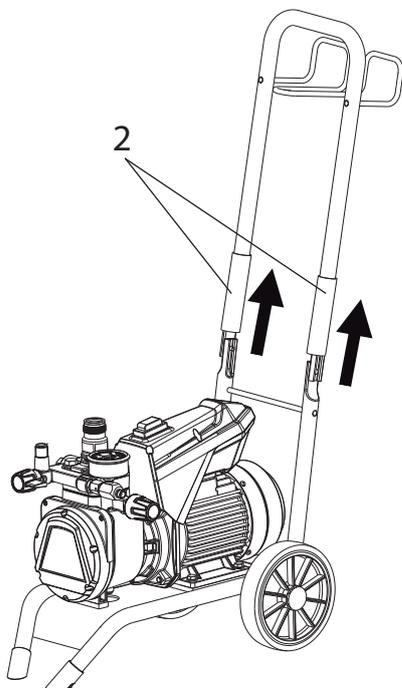


3.4 牽引バーの調整

牽引バー (1) を上方に起こしてください(スリーブが下方にスライドし、牽引バーをストップ位置に固定します)。



牽引バーを必要に応じてもう一度折りたたむには、スリーブ (2) を上方方向にスライドさせてください。



車両での輸送

適切な固定具を使って塗装機を車内に固定してください。必要に応じて、本機を横に寝かすこともできます。その際、取付け部品が損傷しないように注意してください。注意：塗料や溶剤の残りがジョイント部から流れ出ることがあります。

3.5 技術データ

電源:	100 V、 50 Hz	100 V、 60 Hz
ヒューズ:	15 A 遅延型	
接続ケーブル:	長さ 6 m、3x2.0 mm ²	
最大消費電流:	13.8 A	
保護等級:	IP 54	
最大消費電力:	1.4 kW	
締切圧力:	21 MPa	
最大吐出量(循環):	2.5 L/min	3.1 L/min
水が12 MPa (120 bar) の場合の流:	2.3 L/min	2.7 L/min
塗料の最大許容温度:	43 °C	
最大粘度:	20000 mPas	
重量 トロリー付仕様:	29 kg	
油圧オイル充填量: 油圧ケース ギアヘッド	1.3 L 45g グリース	
最大音圧レベル:	75 dB (A)*	

*測定場所: 塗装機側面からの距離1 m、床からの高さ1.6m、作動圧力12 MPa (120bar)、音響反射性の床

使用開始

4 使用開始



使用開始前には塗料吸入口 (4) のインレットバルブを上から押してください。これによって、バルブがブロックされていない/固着していないことが確かめられます。

4.1 サクションシステム付きの場合

1. ジョイントのシール面に汚れがないか確認します。赤色の吸入口チューブ (1) が塗料吸入口 (4) にはめ込まれていることを確認します。
2. 任意のスパナ (41mm) を使って吸入ホースセット (3) にある袋ナット (2) を塗料吸入口 (4) に取り付けます。
3. リターンホースセット (6) にある袋ナット (5) をジョイント (7) に取り付けます (スパナ幅 22mm)。

4.2 ホッパー 付きの場合

1. ジョイントのシール面に汚れがないか確認します。赤色の吸入口チューブ (1) が塗料吸入口 (4) にはめ込まれていることを確認します。
2. リターンホース (6) にある袋ナット (5) をジョイント (7) に取り付けます。
3. ホッパー (8) を塗料吸入口 (4) に取り付け、手で締め付けます。

4.3 塗料ホースとエアレススプレーガン

1. 塗料ホース (9) をホースジョイントに取り付けます。
2. エアレススプレーガン (10) を塗料ホースに取り付けます。
3. 塗料が漏れ出ないように、塗料ホースのすべての袋ナットをしっかりと締め付けます。
4. 選択したノズルが付いたノズルホルダーをエアレススプレーガンに取り付け、向きを調整し、締め付けて固定します。(エアレススプレーガン / トレードチップの説明書を参照)



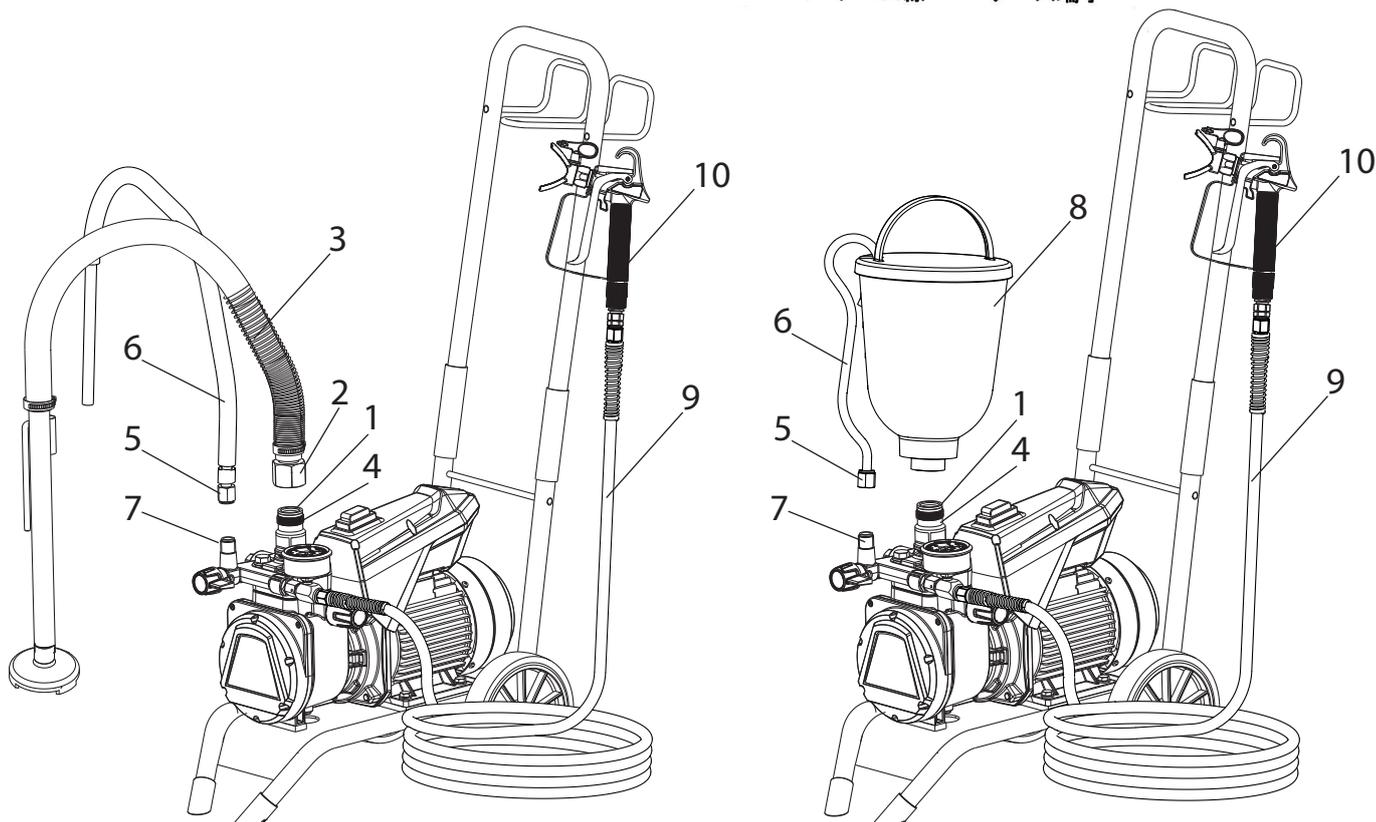
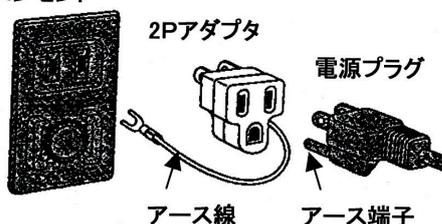
塗料ホースをホースジョイントから取り外す際は、ホースジョイントを22mmのスパナを使って保持しながら塗料ホースを取り外してください。

4.4 電源接続

100Vコンセントの確認

電源プラグはアース端子付き3Pになっています。コンセントにアースのついていない2Pの場合は、付属のアダプタを取り付けて使用してください。

コンセント



4.5 初使用開始の手順

サククションシステムの場合

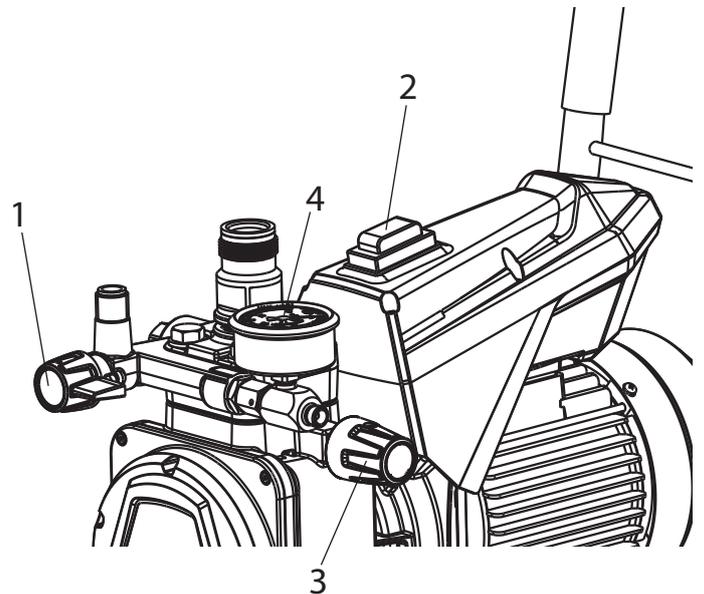
1. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を入れた容器の中にサククションシステムを浸します。

ホッパー付きの場合

2. 適切な洗浄剤（水または溶剤）をホッパーに充填します。
3. リリーフバルブ (1) を  (循環) にします。
4. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON) にし、本機を始動させます。
5. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに戻します。
6. リターンホースから洗浄剤（水または溶剤）が流れ出るまで待ちます。
7. 圧力調整ノブ (3) を約1回転戻します。
8. リリーフバルブ (1) を  (スプレー) にします。
 高压ホース内で圧力があがります。(圧力計 (4) で確認できます)
9. スプレーガンのノズルを開いた回収容器に向け、トリガーを引きます。
10. 圧力調整ノブ (3) を右方向に回し、圧力を上昇させます。
 (圧力5.0 MPa 以下)
11. 洗浄剤（水または溶剤）を開いた回収容器に向けて吹き戻します。(約1~2分間)

4.6 吸入弁から音が聞こえない場合の塗装機（油圧システム）のエア抜き

1. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON) にし、本機を始動させます。
2. 圧力調整ノブ (3) を左方向に3回転します。
3. リリーフバルブ (1) を  (循環) にします。油圧システムのエア抜きが行われます。塗装機の電源を2~3分間入れたままにします。
4. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに戻します。
5. 音が聞こえてこない場合は、2~4番目の手順を繰り返します。



4.7 塗料充填後の始動

サククションシステムの場合

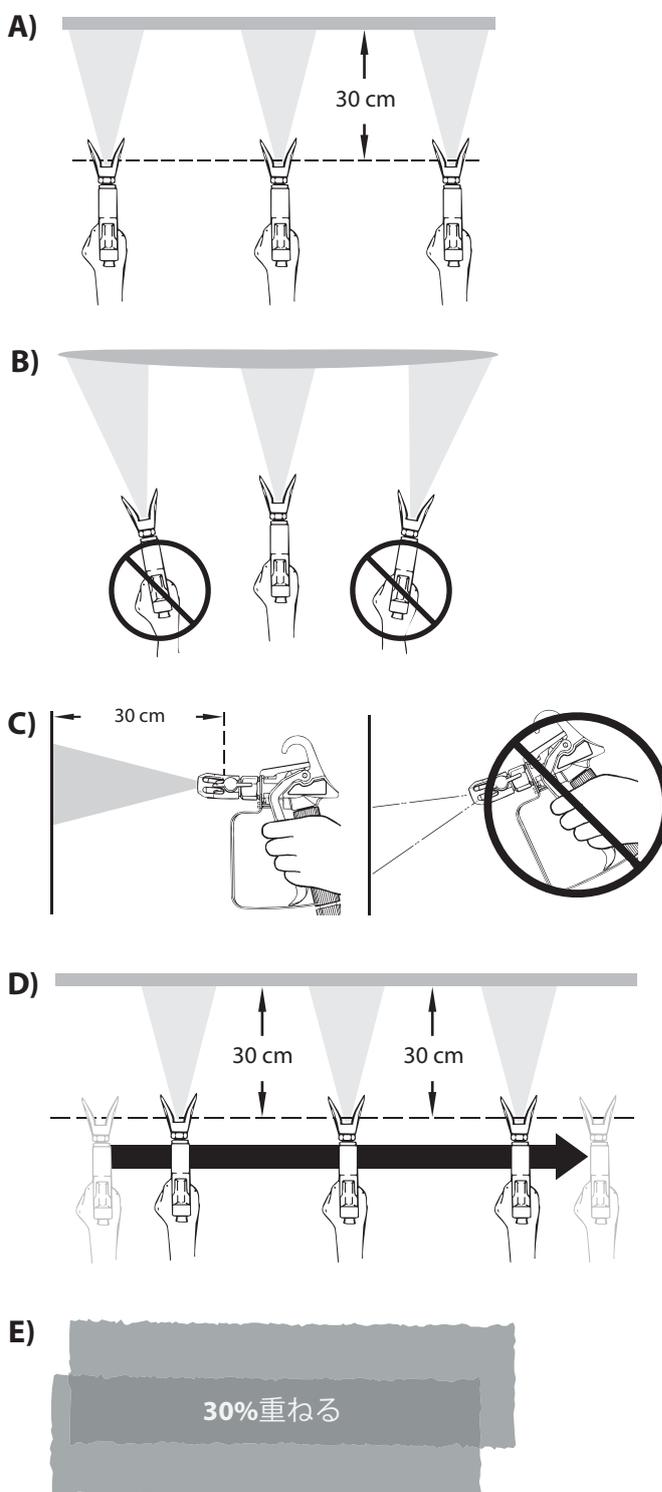
1. 塗料を入れた容器の中にサククションシステムを浸します。

ホッパー付きの場合

2. 塗料をホッパーに充填します。
3. リリーフバルブ (1) を  (循環) にします。
4. ON/OFF スイッチ (2) を I (ON) にし、本機を始動させます。
5. 圧力調整ノブ (3) を右いっぱいに戻します。
 エア抜きされると弁から聞こえる音が変わり、塗料が吸入されます。
6. 塗料がリターンホースから流れ出たら、圧力調整ノブ (3) を約1回転戻します。
7. リリーフバルブ (1) を  (スプレー) にします。
 高压ホース内で圧力があがります。(圧力計 (4) で確認できます)
8. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、開いた回収容器の中に洗浄剤（水または溶剤）の残りを捨て吹き戻します。ノズルから塗料が流れ出たら、エアレススプレーガンを開きます。
9. 圧力調整ノブ (3) を回して適切なスプレー圧力を設定します。
10. これで塗装準備が整いました。

5 塗装テクニック

- 高品質な塗装結果を達成するには、全表面を均一に塗布することがカギになります。腕を一定の速度で動かして、スプレーガンを表面から一定の間隔に保ってください。スプレーノズルと表面の間が約30 cmになるのが最適な間隔です。(図A)
- スプレーガンを表面に対して平行に保ってください。動きは腕全体で行い、手首では行わないでください。(図B)
- スプレーガンを表面に対して直角に保ってください。そうしないと塗装が一方の端で他方の端よりも厚くなってしまいます。(図C)
- 腕を動かし始めたら、トリガーを引いてください。腕の動きを終了する前にトリガーを離してください。(図D) スプレー面内で中断しないようにしてください。
- 各軌道を約30%重ねてください。それによって均一な塗装に仕上がります。(図E)
- スプレーの霧を最小にするためには、希望のスプレーパターンが得られる最も小さな圧力に設定してください。
- ラッカー塗装作業で表面を特別にきれいに仕上げられるよう、ワグナーではFineFinishノズルなどの特殊アクセサリをご用意しております。お気軽にワグナー製品取扱店までご相談ください。



6 塗料ホースの取扱い

本機には、ダイヤフラムエアレスポンプに適した専用の塗料ホースが装備されています。

	塗料ホースの漏れにより負傷するおそれがあります。損傷がある塗料ホースはただちに 取り替えてください。 欠陥のある塗料ホースを絶対に自分で修理 しないでください。
---	---

塗料ホースの取扱いは慎重に行ってください。鋭角に曲げたり折り曲げないでください。
塗料ホースを踏まないでください。尖った物や角で擦れないように保護してください。
塗料ホースを引っ張って塗装機を動かすことは絶対におやめください。
塗料ホースがねじれないように注意してください。スイベルジョイントおよびホースリール付きのワグナー製スプレーガンを使用することにより、これを防止できます。

	足場での作業で高圧ホースを取り扱う場合は、ホースを常に足場の外側に通すことが最も安全です。
---	---

	古くなった高圧ホースを使用すると、損傷する危険が高まります。 高圧ホースを6年使用したら交換することをワグナーでは推奨しています。
---	--

	機能性、安全性および寿命の理由から、ワグナー製の純正の塗料ホースのみを使用してください。
---	--

7 作業の中断

1. リリーフバルブを  (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを 0 (OFF) にします。
3. エアレススプレーガンのトリガーを引き、塗料ホースおよびスプレーガンから圧力を逃がします。
4. エアレススプレーガンをロックします。エアレススプレーガンの操作説明書を参照。
5. ノズルホルダーからノズルを取り出し、適切な洗浄剤(水または溶剤)を入れた小さい容器の中に浸しておきます。
6. サクションシステムは塗料に浸したままにするか、適切な洗浄剤(水または溶剤)に浸します。サクションフィルターと塗装機が乾燥してしまわないようにしてください。
7. 塗料が乾燥しないように、塗料缶に覆いをします。

	速乾性塗料または二液性塗料を使用する場合は、ただちに洗浄してください。
---	-------------------------------------

8 洗浄

本機を支障なく使用するためには、こまめな洗浄が欠かせません。スプレー作業の後には、塗装機を洗浄してください。絶対に塗装機の中に残った塗料が乾燥してこびりつかないようにしてください。洗浄には各塗料に合った洗浄剤（水または溶剤。溶剤の場合、引火点21℃以上）を使用してください。

	水性塗料の場合は、温水を使うとよりきれいになります。
--	----------------------------

- エアレススプレーガンの安全ロックをロックします。エアレススプレーガンの操作説明書を参照。ノズルとノズルホルダーを取り外し、洗浄します。
- サクションシステムの場合
 1. リリーフバルブを (循環) にします。
 2. ON/OFF スイッチを I (ON) にします。
 3. サクションシステムを塗料容器から取り外します。塗料がほとんど流れ出てこなくなるまで、リターンホースを塗料缶の上に置いておきます。
 4. サクションシステムを適切な洗浄剤（水または溶剤）に浸します。
 5. 圧力調整ノブを左に回して、スプレー圧力を最小に調整します。
 6. リリーフバルブを (スプレー) にします。
 7. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、塗料 ホースおよびエアレススプレーガンに残っている塗料を、口の開いた容器内に捨て吹きします。（場合に応じて圧力調整ノブで圧力を少しずつ上げて、塗料の吐出量を増加します）

	溶剤系の塗料の場合は、容器が接地（アース）されていなければなりません。
--	-------------------------------------

	注意：小さい開口部（注入口）付きの容器内にスプレーしたりポンプで注入してはいけません。安全規定を参照。
--	---

8. リリーフバルブを (循環) にします。
9. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を回路内で数分間循環させます。

	エアレススプレーガンを繰り返し開閉すると、洗浄効果が上がります。
--	----------------------------------

10. リリーフバルブを (スプレー) にします。
11. 塗装機が空になるまで、残りの洗浄剤（水または溶剤）を口の開いた容器内に捨て吹きします。
12. リリーフバルブを (循環) にします。
13. ON/OFF スイッチを 0 にします。

• ホッパー付きの場合

1. リリーフバルブを (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを I (ON) にします。
3. 圧力調整ノブを左に回して、スプレー圧力を最小に調整します。
4. リリーフバルブを (スプレー) にします。
5. エアレススプレーガンのトリガーを引いて、ホッパー、塗料ホースおよびスプレーガンに残っている塗料を、口の開いた容器内に捨て吹きします。（場合に応じて圧力調整弁の圧力を少しずつ上げて、塗料の吐出量を増加します）

	溶剤系の塗料の場合は、容器が接地（アース）されていなければなりません。
--	-------------------------------------

	注意：小さい開口部（注入口）付きの容器内にスプレーしたりポンプで注入してはいけません。安全規定を参照。
--	---

6. ホッパーに適切な洗浄剤（水または溶剤）を注入します。
7. リリーフバルブを (循環) にします。
8. 適切な洗浄剤（水または溶剤）を回路内で数分間循環させます。
9. リリーフバルブを (スプレー) にします。
10. 塗装機が空になるまで、残りの洗浄剤（水または溶剤）を口の開いた容器内に捨て吹きします。
11. リリーフバルブを (循環) にします。
12. ON/OFF スイッチを 0 (OFF) にします。

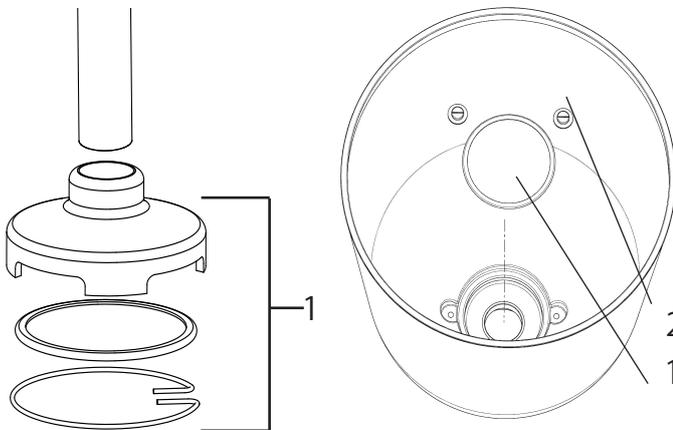
8.1 外側からの洗浄

	<p>事前に電源プラグをコンセントから抜いておいてください。 水が侵入してショートするおそれがあります。 機械本体の洗浄には絶対に高圧洗浄機や高圧スチームクリーナーを使用しないでください。</p>
	<p>塗料ホースを溶剤に入れしないでください。 お手入れには、湿らせた布で外側を拭いてください。</p>

塗装機の外側は、適切な洗浄剤（水または溶剤）を浸した布で拭き取ります。

8.2 サクションフィルター

	<p>清浄なフィルターを使用することで、最大吐出量、安定した噴射圧力、支障のない動作が保証されます。</p>
--	--



サクションフィルター

ホッパー

サクションシステムの場合

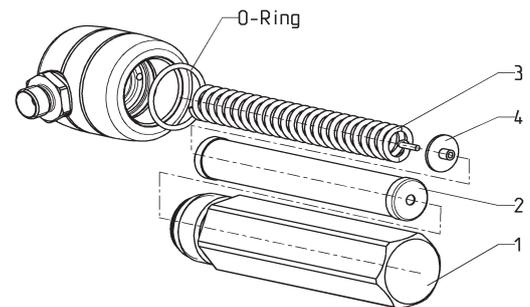
1. サクションフィルター (1) を吸入ホースセットから取り外します。
2. フィルターを洗浄または交換します。
洗浄には、硬いブラシと適切な洗浄剤（水または溶剤）を使用してください。

ホッパー付きの場合

1. ドライバーを使ってボルト (2) を外します。
2. フィルターリング (1) をドライバーで持ち上げ、取り外します。
3. フィルターリングを洗浄または交換します。
洗浄には、硬いブラシと適切な洗浄剤（水または溶剤）を使用してください。

8.3 高圧フィルター (オプション)

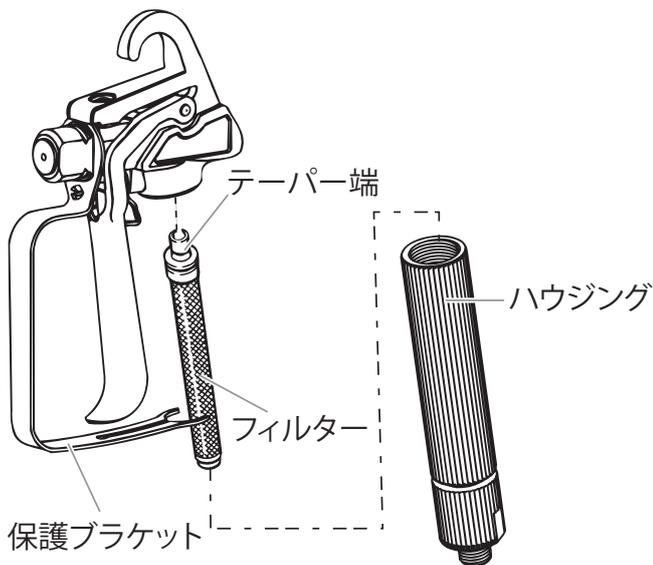
1. リリーフバルブを  (循環) にします。
2. ON/OFF スイッチを ON にします。
3. 高圧フィルターを開き、中に入っているフィルター一式を洗浄します。具体的な手順は：
4. フィルターハウジング (1) を手で取り外します。
5. フィルターエレメント (2) を取り出し、サポートスプリング (3) を抜き取ります。
6. 全ての部品を適切な洗浄剤（水または溶剤）で洗浄します。送風装置がある場合は、フィルターエレメントとサポートスプリングの表面の付着物を吹き払います。
7. フィルターを組み立てる際、サポートディスク (4) がフィルターエレメントに正しく取り付けられるように注意し、フィルターハウジングのOリングに損傷がないか点検します。
8. フィルターハウジングをストップ位置まで手で締め付けます（締め付けすぎると後に取外しが困難になります）。



8.4 エアレススプレーガンの洗浄

1. エアレススプレーガンは適切な洗浄剤(水または溶剤)を使って低圧力で洗浄します。
2. ノズルは内部に塗料が残らないように、適切な洗浄剤(水または溶剤)で入念に洗浄します。
3. エアレススプレーガンの外側を入念に洗浄します。

エアレススプレーガンの差し込み式フィルター



取外し手順

1. 力を入れて安全バーを前方へ引きます。
2. グリップ(2)をガンハウジングから取り外します。
3. 差し込み式フィルターを取り出します。
4. 差し込み式フィルターに詰まりや不具合がある場合は取り替えてください。

取付け手順

1. 差し込み式フィルター の長いテーパー部分をガンハウジングに差し込みます。
2. グリップをガンハウジングに取り付け、締め付けます。
3. 安全バーをかみ合わせます。

9 メンテナンス

9.1 一般的なメンテナンス

	安全上の理由から、専門技術者による検査を年に1回実施することを強くお勧めします。検査に関しては、各国で適用されているすべての法規に従ってください。
	本機のメンテナンスはワグナーのサービススタッフが承っております。

使用開始前に毎回行う最低限の点検事項

1. 塗料ホース、スイベルジョイント付きエアレススプレーガンおよびプラグ付き接続ケーブルに損傷がないか点検します。
2. 圧力計が読み取れるか確認します。

定期的に行う点検

1. 吸入弁および吐出弁が摩耗していないか点検し、洗浄して摩耗部品を交換します。
2. フィルターエレメント(エアレススプレーガン、サクションシステム)を洗浄し、必要に応じて交換します。

9.2 塗料ホース

塗料ホースに切れ目や膨らみがないか目視点検します。特に継ぎ目を念入りに点検します。袋ナットはスムーズに回転できる状態にします。ホース全体にわたって電気伝導性が1MΩ以下である必要があります。

	電氣的な点検はワグナーのサービススタッフにお申し付けください。
	古くなった高圧ホースを使用すると、損傷する危険が高まります。高圧ホースを6年使用したら交換することをワグナーでは推奨しています。

10 修理



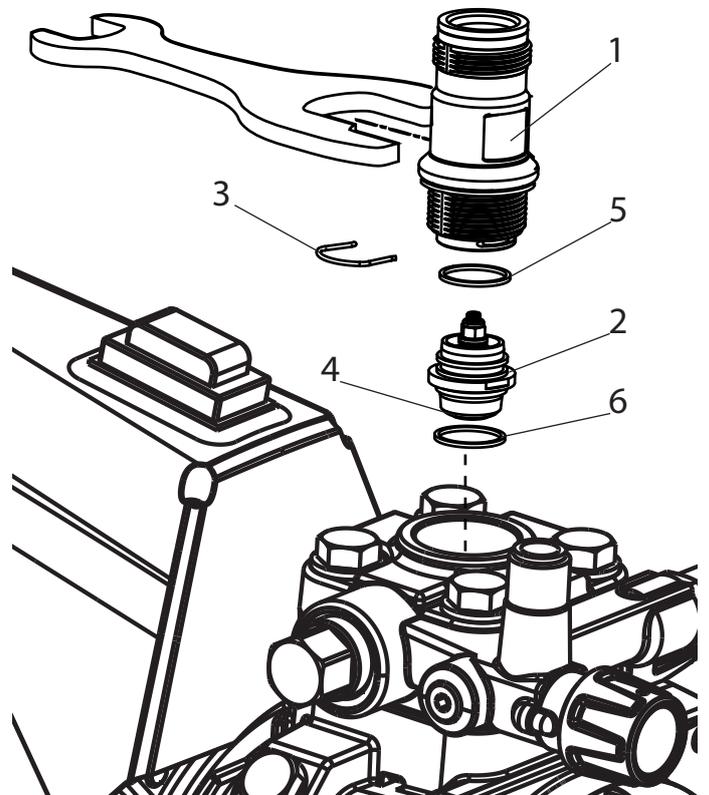
電源を切ってください。
修理の前には必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

10.1 吸入弁

1. 付属のスパナ (30mm) をハウジング (1) にあてがいます。
2. スパナの先端をハンマーで軽く叩き、ハウジング (1) を外します。
3. ハウジングと吸入弁 (2) を塗料セクションから取り外します。
4. ドライバーを使ってクリップ (3) を抜き取ります。
5. スパナ (30mm) を吸入弁 (2) に当てがいます。スパナを回して吸入弁を慎重に取り出します。
6. 洗浄剤 (水または溶剤) とブラシを使ってバルブシート (4) を洗浄します。(ブラシの毛が付着しないように注意してください)
7. シール (5, 6) を洗浄して損傷がないか点検し、必要に応じて交換します。
8. 弁の全部品を損傷がないか点検します。摩耗が確認されたら、吸入弁を取り替えます。

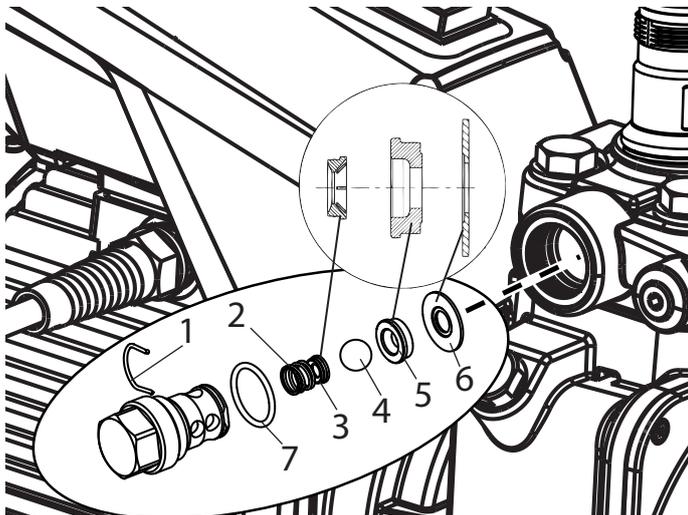
取付け手順

1. 吸入弁 (2) をハウジングにはめ込み、クリップ (3) で固定します。(黒い)シール (5) がハウジングに取り付けられていることを確認してください。
2. ハウジングと吸入弁のユニットを塗料セクションに締め付けます。同じ(黒い)シール (6) が塗料セクションに取り付けられている必要があります。
3. スパナ (30mm) を使ってハウジングを締め付け、スパナ先端をハンマーで3回軽く叩いてしっかり締め付けます (締め付けトルク約90 Nmに相当)。

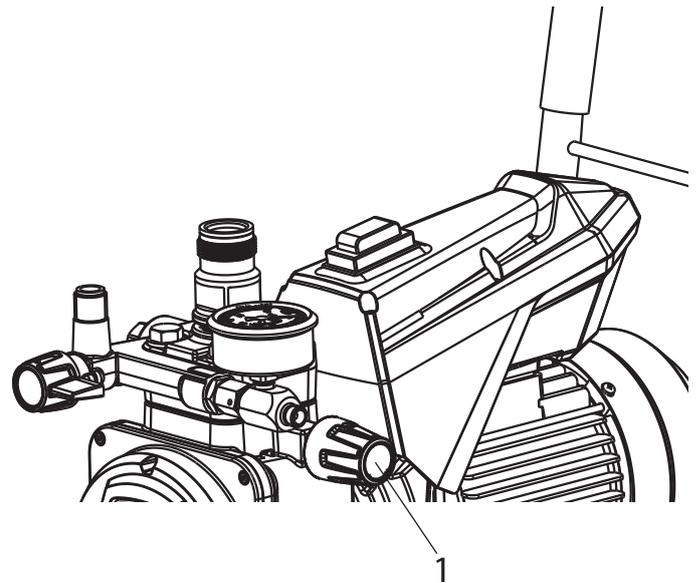
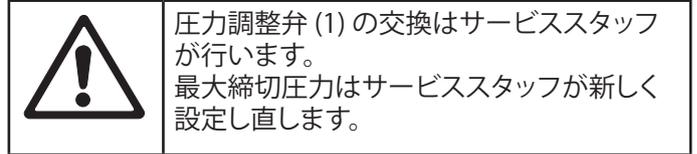


10.2 吐出弁

1. スパナ (22mm) を使って吐出弁を塗料セクションから取り外します。
2. 任意のドライバーを使ってクランプ (1) を慎重に抜き取ります。圧縮ばね (2) によってボール (4) およびバルブシート (5) が押し出されます。
3. 洗浄または交換します。(吐出弁サービスセット/吐出弁セットで交換)
4. Oリング (7) が損傷していないか点検します。
5. スプリング支持リング (3) (圧縮ばね (2) にはめ込まれます)、吐出弁シート (5) およびシーリングワッシャー (6) を取り付け際には、それぞれの取付け位置に注意してください。-> 図を参照



10.3 圧力調整弁

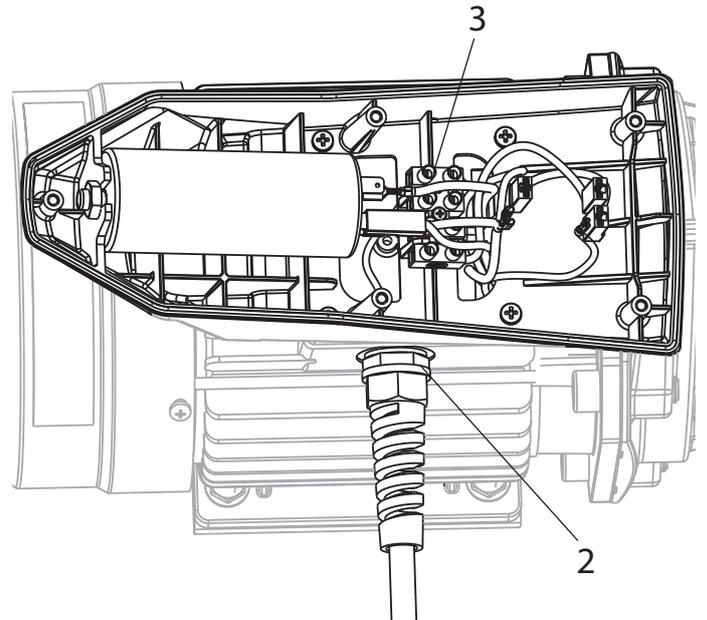
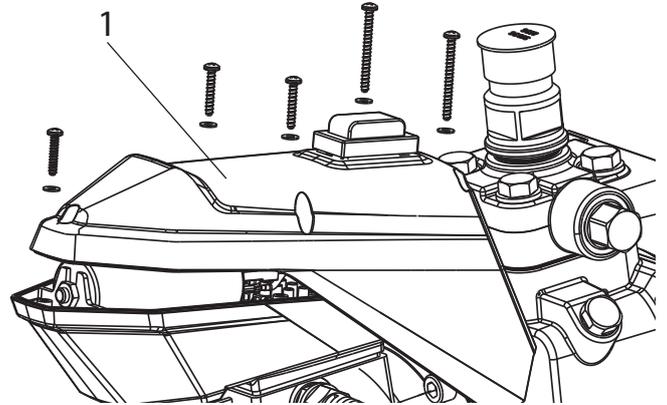


10.4 電源ケーブルの交換



専門の電気技術士のみが行ってください。
不適切に設置した場合、弊社は一切責任を負いません。
本機の電源を切ってください。
修理作業前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. ねじを緩めて後部カバー (1) を取り外します。
2. コードクランプ (2) をゆるめます。
3. 電源ケーブル端子 (3) のワイヤをゆるめます。
4. 電源ケーブルを交換します。
(防沫性プラグ付きで許可されている電源ケーブル H07-RNFのみを使用してください)
5. 緑/黄のワイヤを端子PEに取り付けます。
6. カバーを再び慎重に取り付けます (ケーブルが挟まらないよう注意してください)。



10.5 典型的な摩耗部品

高品質の材料を使用しているにもかかわらず、塗料の強力な研磨作用により、以下の部品の摩耗が起こる場合があります。

吸入弁

交換については10.1を参照

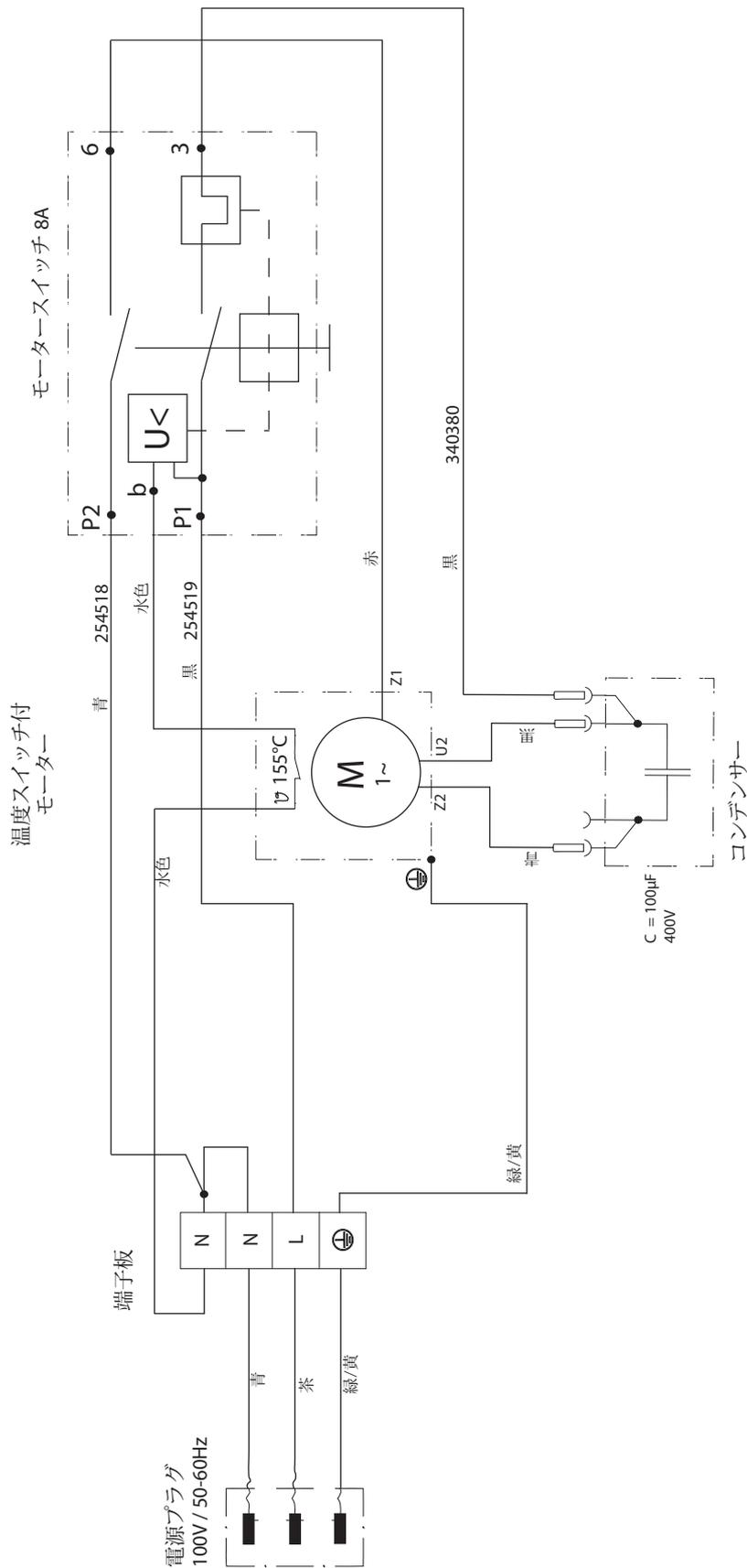
(性能の低下かつ/または吸引力の低下やまったく吸引しなくなることによって故障がわかります。しっかり洗浄することによって改善できます)

吐出弁

交換については10.2を参照

(性能の低下かつ/または吸引力の低下によって故障がわかります) 通常、吐出弁の方が吸入弁よりはるかに長持ちします。場合により、しっかり洗浄することが役立ちます。

10.6 電気配線図

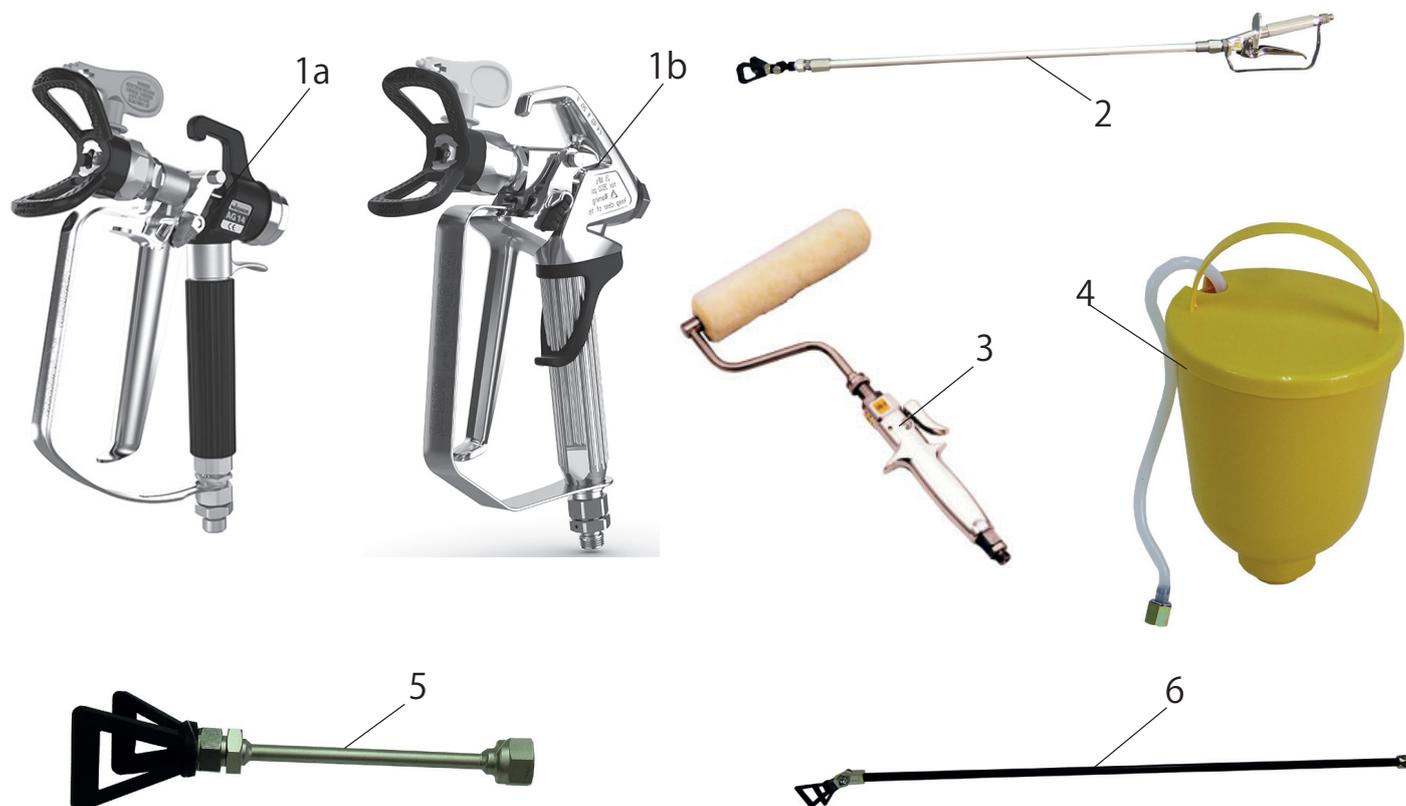


10.7 トラブルシューティング

不具合の種類	その他の不具合	考えられる原因	対策
塗装機が作動しない		電源が供給されていない	電源供給を点検する
		ヒューズが応答した	モーターを冷やし、再度電源を入れる
塗装機の吸入が行われない	リターンホースから気泡および液体が出ない	吸入弁または吐出弁が固着している/摩耗している	弁を取り外して洗浄する (-> 10.1/10.2を参照)。摩耗した部品を交換
		圧力調整弁が元に戻されている	圧力調整弁を右いっぱいに戻す
	リターンホースから気泡が出る	余分な空気が吸入されている	点検事項: サクションシステムがしっかり締塗料入口に赤色の吸入口チューブが付いているか? (-> 4.1章参照)
圧力が上がらない	塗装機が吸入しない	オイル回路内に空気が入っている	塗装機のオイル循環回路をエア抜きする。まず、圧力調整弁を左いっぱいまで回し、約2~3分間作動させる。その後で圧力調整弁を右へ回し、スプレー圧力を調整する(必要に応じてこの操作を数回繰り返す)。
	圧力は上昇するが、塗装作業をすると圧力が急低下する	サクションフィルターの詰まり	サクションフィルターを点検する/必要に応じて洗浄または交換する
		粘度の高い塗料が弁(吸入弁)に粘着して吐出量が不足、この状態での塗料の使用は不可能	塗料を希釈する
	圧力は上昇するが、塗装作業をするとスプレー噴霧がなくなる(圧力計は高い圧力を示す)	フィルターが詰まっており、塗料があまり通らない	ガンフィルター、サクションフィルター、高圧フィルター(ある場合)を点検する/洗浄する
		ノズルの詰まり	ノズルを洗浄する
	圧力が最大まで上がらない、噴射設定時でもリターンホースから塗料が流出される	リリース弁の故障	ワグナーのカスタマーサービス窓口までお問い合わせください

11 交換部品とアクセサリ

11.1 HERO 23 のアクセサリ



アクセサリ：

位置	製品名	注文番号
1a	エアレススプレーガン AG-14 J (ステンレス仕様、ホース取付口 G3/8")	2247 014
1b	エアレススプレーガン Vektor Pro* (アルミニウム仕様、ホース取付口 NPS1/4")	2247051
2	ポールガン 長さ 1.2 m 長さ 2.0 m	2247 112 2247 124
3	圧送ローラー ERG-8	2230405
4	5Lホッパー	341 265

位置	製品名	注文番号
5	延長ガンキャップ 長さ 15 cm 長さ 30 cm 長さ 45 cm 長さ 60 cm	2999 320 2999 321 2999 322 2999 323
6	延長ガンキャップ 回転ジョイント付き 長さ 1 m 長さ 2 m 長さ 3 m	96 015 96 016 96 017

* 標準セット

エアレスノズルの一覧表



ワグナー
トレードチップ3
ノズル
最大 270 bar
(27 MPa)



ノズルなし
Fねじ (11/16 - 16 UN)
ワグナー製スプレーガン用
注文番号 **0556040**



以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号	
水性塗料/溶剤系塗料 ラッカー系塗料 オイル	107	10°	0.007 / 0.18	100	赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤	553107	
	207	20°	0.007 / 0.18	120		553207	
	307	30°	0.007 / 0.18	150		553307	
	407	40°	0.007 / 0.18	190		553407	
	109	10°	0.009 / 0.23	100		553109	
	209	20°	0.009 / 0.23	120		553209	
	309	30°	0.009 / 0.23	150		553309	
	409	40°	0.009 / 0.23	190		553409	
	509	50°	0.009 / 0.23	225		553509	
	609	60°	0.009 / 0.23	270		553609	
	合成樹脂塗料 エナメル	111	10°	0.011 / 0.28		100	赤 赤 赤 赤 赤 赤
211		20°	0.011 / 0.28	120	553211		
311		30°	0.011 / 0.28	150	553311		
411		40°	0.011 / 0.28	190	553411		
511		50°	0.011 / 0.28	225	553511		
611		60°	0.011 / 0.28	270	553611		
ワニス 下塗りラッカー 下塗り塗料 ジंकロメート プライマー 目止め剤	113	10°	0.013 / 0.33	100	赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤	553113	
	213	20°	0.013 / 0.33	120		553213	
	313	30°	0.013 / 0.33	150		553313	
	413	40°	0.013 / 0.33	190		553413	
	513	50°	0.013 / 0.33	225		553513	
	613	60°	0.013 / 0.33	270		553613	
	813	80°	0.013 / 0.33	330		553813	
目止め剤 プラスター 錆止め塗料	115	10°	0.015 / 0.38	100	黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄	553115	
	215	20°	0.015 / 0.38	120		553215	
	315	30°	0.015 / 0.38	150		553315	
	415	40°	0.015 / 0.38	190		553415	
	515	50°	0.015 / 0.38	225		553515	
	615	60°	0.015 / 0.38	270		553615	
	715	70°	0.015 / 0.38	300		553715	
	815	80°	0.015 / 0.38	330		553815	
	プラスター 錆止め塗料 鉛丹 水性トップコート	117	10°	0.017 / 0.43		100	黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄 黄
217		20°	0.017 / 0.43	120	553217		
317		30°	0.017 / 0.43	150	553317		
417		40°	0.017 / 0.43	190	553417		
517		50°	0.017 / 0.43	225	553517		
617		60°	0.017 / 0.43	270	553617		
717		70°	0.017 / 0.43	300	553717		
817		80°	0.017 / 0.43	330	553817		
219		20°	0.019 / 0.48	120	白 白 白 白 白 白 白 白 白	553219	
319		30°	0.019 / 0.48	150		553319	
419		40°	0.019 / 0.48	190		553419	
519		50°	0.019 / 0.48	225		553519	
619		60°	0.019 / 0.48	270		553619	
719		70°	0.019 / 0.48	300		553719	
819		80°	0.019 / 0.48	330		553819	
919		90°	0.019 / 0.48	385		553919	
マイカ塗料 ジंकリッチ塗料 エマルジョン塗料 屋根用塗料		221	20°	0.021 / 0.53		120	白 白 白 白 白 白 白 白
		321	30°	0.021 / 0.53	150	553321	
	421	40°	0.021 / 0.53	190	553421		
	521	50°	0.021 / 0.53	225	553521		
	621	60°	0.021 / 0.53	270	553621		
	721	70°	0.021 / 0.53	300	553721		
	821	80°	0.021 / 0.53	330	553821		
	223	20°	0.023 / 0.58	120	白 白 白 白 白 白 白	553223	
	323	30°	0.023 / 0.58	150		553323	
	423	40°	0.023 / 0.58	190		553423	
	523	50°	0.023 / 0.58	225		553523	
	623	60°	0.023 / 0.58	270		553623	
	723	70°	0.023 / 0.58	300		553723	
	823	80°	0.023 / 0.58	330		553823	

※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅
パターン幅は塗料及び粘度により異なりますので、適応塗料の詳細及び適正ノズルの選定については、販売店もしくはワグナー営業所にお問い合わせください。

交換部品とアクセサリ



以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号
エマルジョン塗料 接着剤 水性塗料 目止め剤 厚膜材料 防錆剤	225	20°	0.025 / 0.64	120	白	553225
	325	30°	0.025 / 0.64	150	白	553325
	425	40°	0.025 / 0.64	190	白	553425
	525	50°	0.025 / 0.64	225	白	553525
	625	60°	0.025 / 0.64	270	白	553625
	725	70°	0.025 / 0.64	300	白	553725
	825	80°	0.025 / 0.64	330	白	553825
	227	20°	0.027 / 0.69	120	白	553227
	327	30°	0.027 / 0.69	150	白	553327
	427	40°	0.027 / 0.69	190	白	553427
	527	50°	0.027 / 0.69	225	白	553527
	627	60°	0.027 / 0.69	270	白	553627
	827	80°	0.027 / 0.69	330	白	553827
	229	20°	0.029 / 0.75	120	白	553229
	329	30°	0.029 / 0.75	150	白	553329
	429	40°	0.029 / 0.75	190	白	553429
	529	50°	0.029 / 0.75	225	白	553529
	629	60°	0.029 / 0.75	270	白	553629
	231	20°	0.031 / 0.79	120	白	553231
	331	30°	0.031 / 0.79	150	白	553331
	431	40°	0.031 / 0.79	190	白	553431
	531	50°	0.031 / 0.79	225	白	553531
	631	60°	0.031 / 0.79	270	白	553631
	731	70°	0.031 / 0.79	300	白	553731
831	80°	0.031 / 0.79	330	白	553831	
大面積塗料	233	20°	0.033 / 0.83	120	白	553233
	333	30°	0.033 / 0.83	150	白	553333
	433	40°	0.033 / 0.83	190	白	553433
	533	50°	0.033 / 0.83	225	白	553533
	633	60°	0.033 / 0.83	270	白	553633
	235	20°	0.035 / 0.90	120	白	553235
	335	30°	0.035 / 0.90	150	白	553335
	435	40°	0.035 / 0.90	190	白	553435
	535	50°	0.035 / 0.90	225	白	553535
	635	60°	0.035 / 0.90	270	白	553635
	735	70°	0.035 / 0.90	300	白	553735
	439	40°	0.039 / 0.99	190	白	553439
	539	50°	0.039 / 0.99	225	白	553539
	639	60°	0.039 / 0.99	270	白	553639
	243	20°	0.043 / 1.10	120	白	553243
	443	40°	0.043 / 1.10	190	白	553443
	543	50°	0.043 / 1.10	225	白	553543
	643	60°	0.043 / 1.10	270	白	553643
	445	40°	0.045 / 1.14	190	白	553445
	545	50°	0.045 / 1.14	225	白	553545
	645	60°	0.045 / 1.14	270	白	553645
	451	40°	0.051 / 1.30	190	白	553451
	551	50°	0.051 / 1.30	225	白	553551
	651	60°	0.051 / 1.30	270	白	553651
	252	20°	0.052 / 1.32	120	白	553252
	455	40°	0.055 / 1.40	190	白	553455
	555	50°	0.055 / 1.40	225	白	553555
	655	60°	0.055 / 1.40	270	白	553655
	261	20°	0.061 / 1.55	120	白	553261
	461	40°	0.061 / 1.55	190	白	553461
	561	50°	0.061 / 1.55	225	白	553561
	661	60°	0.061 / 1.55	270	白	553661
	263	20°	0.063 / 1.60	120	白	553263
	463	40°	0.063 / 1.60	190	白	553463
565	50°	0.065 / 1.65	225	白	553565	
665	60°	0.065 / 1.65	270	白	553665	
267	20°	0.067 / 1.70	120	白	553267	
467	40°	0.067 / 1.70	190	白	553467	

※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅

パターン幅は塗料及び粘度により異なりますので、適応塗料の詳細及び適正ノズルの選定については、販売店もしくはワグナー営業所にお問い合わせください。

HEAノズルの一覧表



以下の表のノズルには、対応するガンフィルターが付属品として付いています。

用途	刻印	角度	チップ口径 inch / mm	パターン幅 mm ※	ガンフィルター	注文番号
合成樹脂塗料 PVCラッカー	211	20°	0.011 / 0.28	120	赤 赤 赤	0554211
	311	30°	0.011 / 0.28	150		0554311
	411	40°	0.011 / 0.28	190		0554411
ラッカー、下塗りラッカー プライマー、フィラー	213	20°	0.013 / 0.33	120	赤 赤 赤	0554213
	313	30°	0.013 / 0.33	150		0554313
	413	40°	0.013 / 0.33	190		0554413
フィラー 目止め剤	415	40°	0.015 / 0.38	190	黄 黄 黄	0554415
	515	50°	0.015 / 0.38	225		0554515
	615	60°	0.015 / 0.38	270		0554615
目止め剤 ラテックス塗料 エマルジョン塗料	417	40°	0.017 / 0.43	190	白 白 白	0554417
	517	50°	0.017 / 0.43	225		0554517
	617	60°	0.017 / 0.43	270		0554617
錆止め塗料 ラテックス塗料 エマルジョン塗料	519	50°	0.019 / 0.48	225	白 白	0554519
	619	60°	0.019 / 0.48	270		0554619
防火剤	421	40°	0.021 / 0.53	190	白 白 白	0554421
	521	50°	0.021 / 0.53	225		0554521
	621	60°	0.021 / 0.53	270		0554621

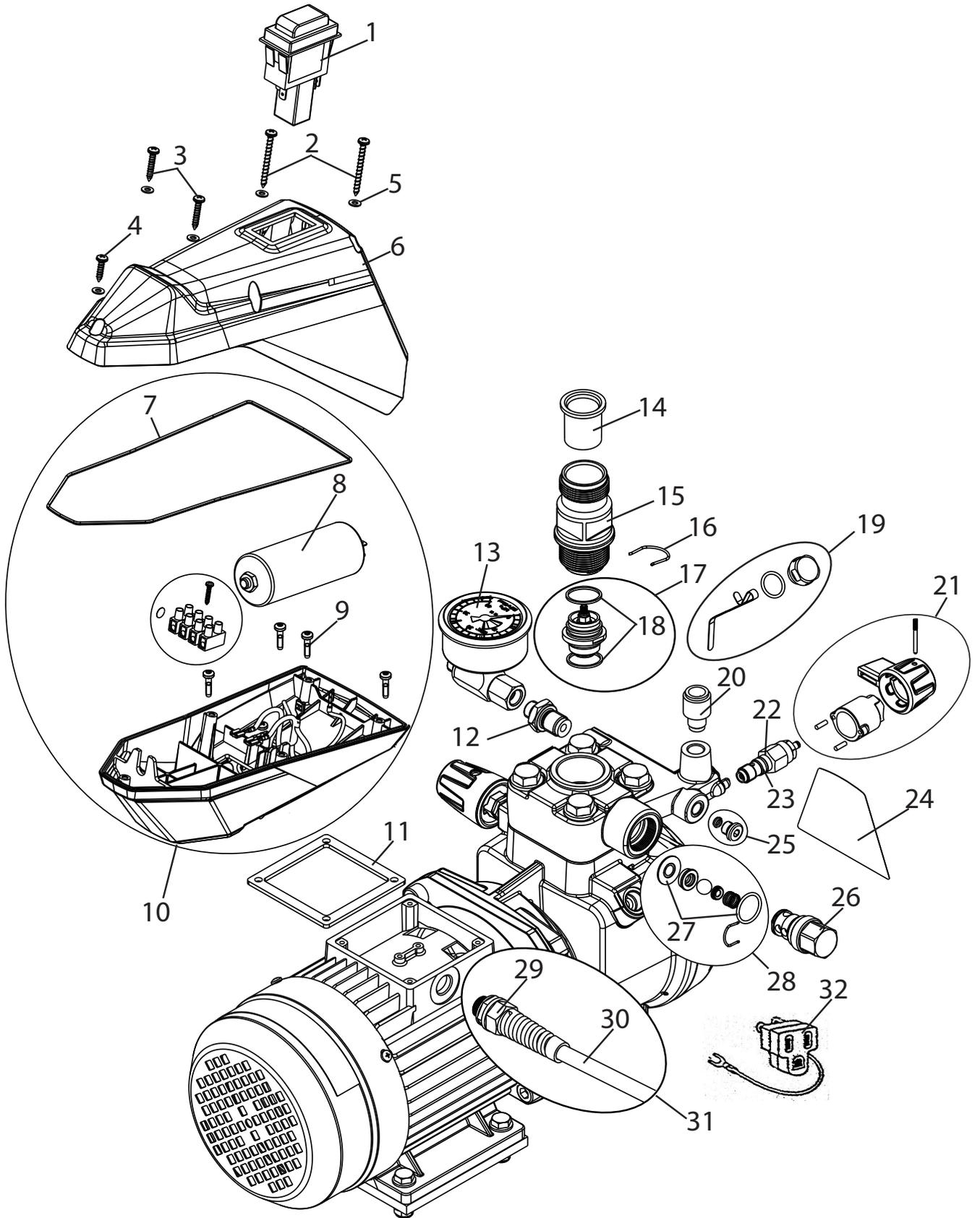
※ 被塗物までの距離約30 cm、圧力100 bar (10 MPa)、合成樹脂塗料 (DIN20 秒) の場合のパターン幅



HEAノズルで作業する場合は圧力を50-150 bar / 5-15 MPA (マノメーターの緑のマークの範囲) に設定することを推奨します。

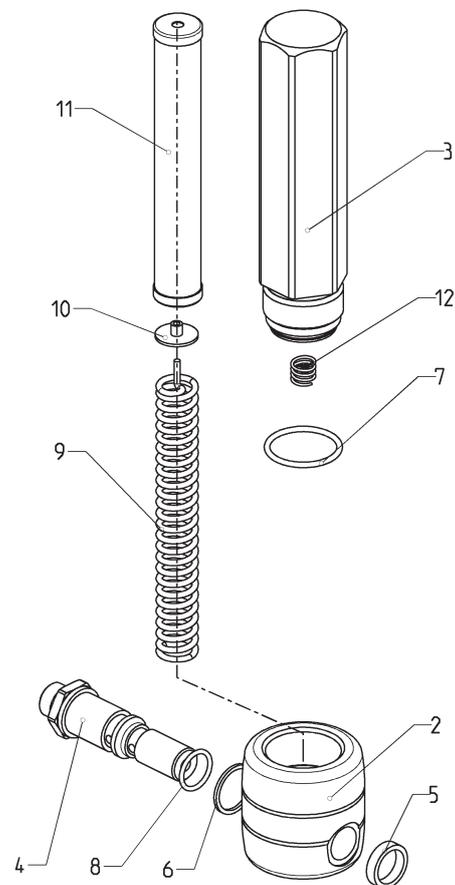
11.2 HERO 23 の交換部品

位置	注文番号	製品名
1	9953681	電源スイッチ
2	2393002	タッピン丸平小ねじ 4.2 x 45 (2本)
3	2393003	タッピン丸平小ねじ 4.2 x 25 (2本)
4	2388381	タッピン丸平小ねじ 4.2 x 22
5	2388377	平ワッシャー
6	2369533	カバー
7	2304608	シーリング 丸コード
8	2393240	コンデンサー 100uf 400V
9	2393018	丸平小頭ねじ M4x18 (4本)
10	2393035	ターミナルボックス (POS 7-9 を含む)
11	2369517	モーターガasket
12	2369436	ダブルコネクター
13	2383995	圧力計
14	2369454	吸入口チューブ
15	2388291	バルブハウジング
16	2369455	クリップ
17	2393043	吸入弁セット (POS 18 (2) を含む)
18	2369458	プラスチックワッシャー
19	2393044	オイルレベル測定セット
20	2369586	リターンホースフィッティング
21	2393047	リリース弁ノブセット
22	2369631	リリース弁 (POS 23 を含む)
23	9971395	Oリング
24	2393275	「Hero 23」モデルラベル
25	2393049	シーリングリングとロックングスクリュー
26	2393102	吐出弁ハウジングセット
27	2393105	Oリングとシーリング
28	2393106	吐出弁セット (POS 27 を含む)
29	2388374	コードクランプ
30	2393241	電源ケーブル
31	2399031	電源ケーブル(完全) (Pos 29-30)
32	2231000	OAアダプター



11.3 高圧フィルター (アクセサリ) の交換部品リスト

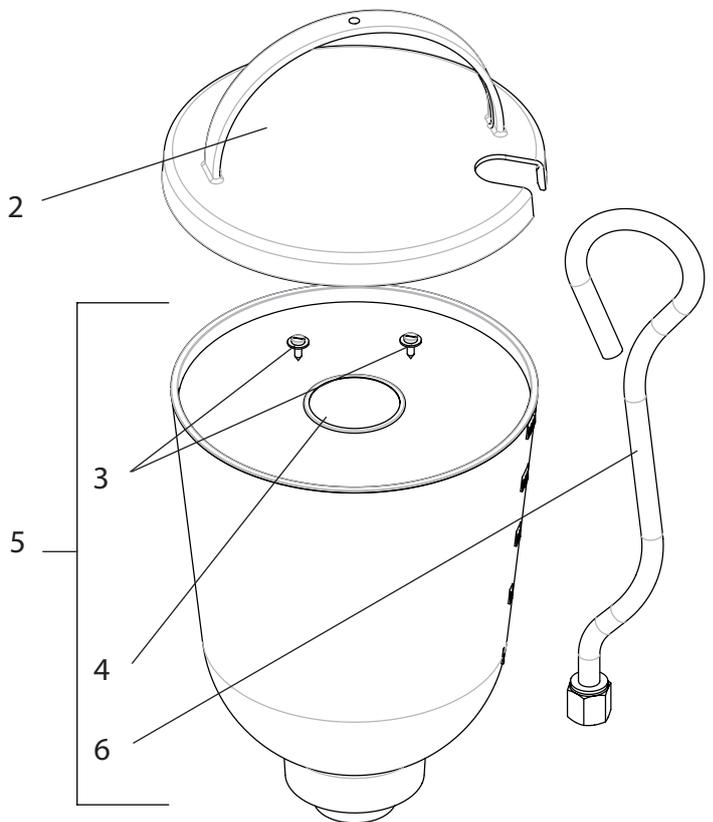
POS	注文番号	製品名
	97 123	フィルターセット
2	97 301	フィルターブロック
3	97 302	フィルターハウジング
4	97 306	中空ボルト
5	97 304	シールリング
6	9970 110	シールリング
7	9974 027	Oリング 30x2 (PTFE)
8	9971 401	Oリング 16x2 (PTFE)
9	0508 749	コアスプリング
10	0508 603	スプリングガイド
11	0508 748	フィルター 60メッシュ
	0508 450	オプション: フィルター 100メッシュ
	0508 449	フィルター 30メッシュ
12	9994 245	プレッシャースプリング



高圧フィルターの交換部品図

11.4 ホッパーの交換部品リスト

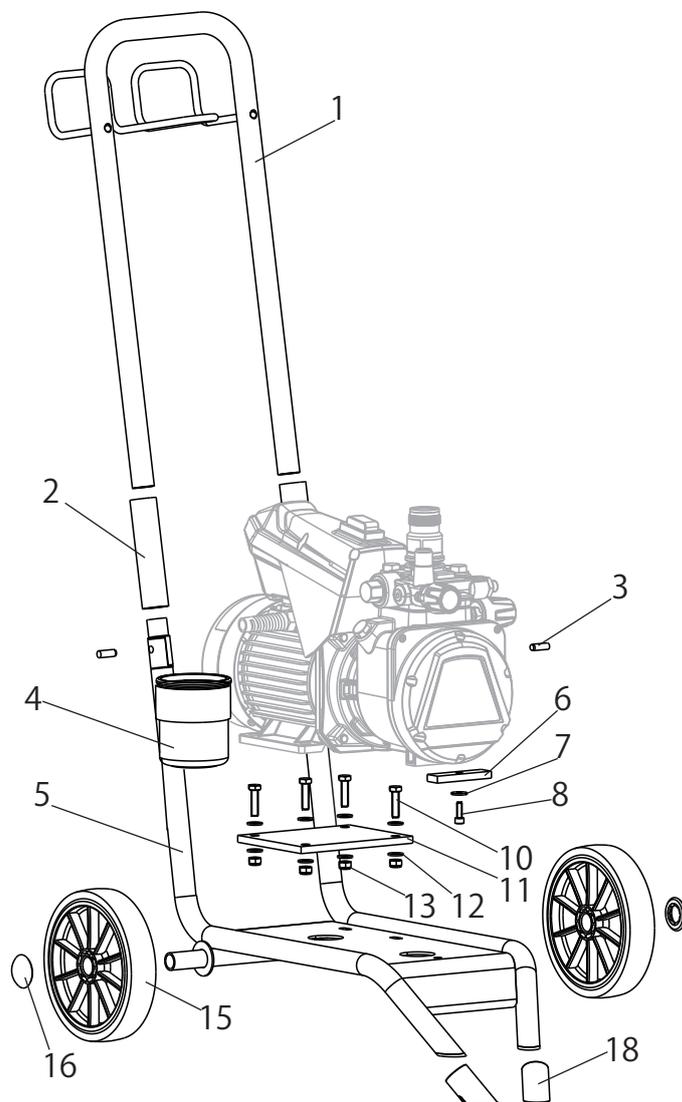
位置	注文番号	製品名
1	341 265	5Lホッパーセット
2	340 901	ホッパーカバー (5L)
3	9902 306	ワッシャー付きタッピンねじ 3.9x13
4	37 607	フィルター、メッシュサイズ 0.8mm
	3 756	オプション: フィルター、メッシュサイズ 0.4mm
5	340 904	ホッパーボディ
6	340 908	リターンチューブ



ホッパーの交換部品図

11.5 トロリーの交換部品リスト

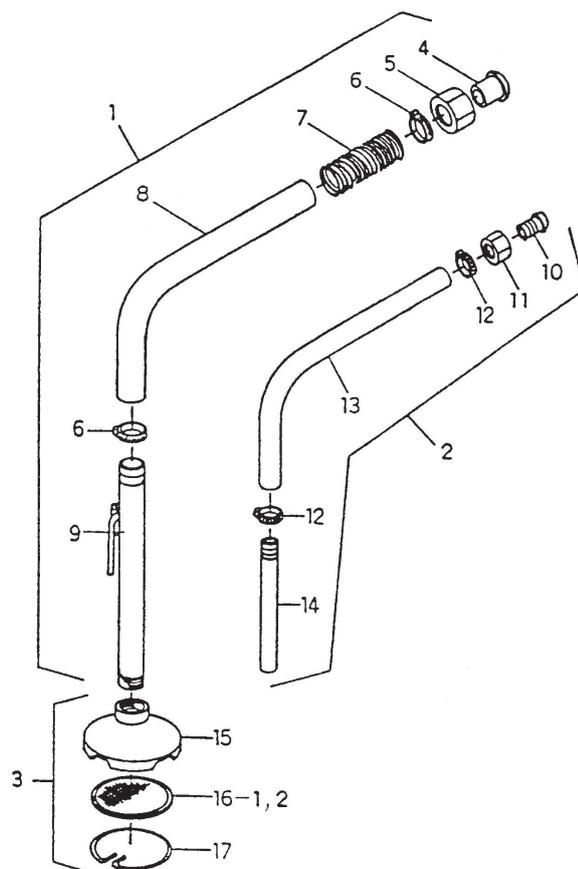
位置	注文番号	製品名
1	2369570	牽引バー
2	13806	スリーブ
3	2396299	中空リベット
4	2343481	洗浄タンク
5	2369550	トロリー下部フレーム
6	2369578	ダンパー
7	9920304	ディスクB 6.4
8	2391181	シリンダーヘッドスクリュー
9	2393118	ダンパーセット (POS 6-8)
10	9900118	六角ボルト
11	2369545	中間プレート
12	9920102	平ワッシャー
13	9910208	ロックナット
14	2393119	中間プレート (Pos. 10-13)
15	2369556	ホイール
16	9994950	ジクキャップ
17	2393121	ホイール (完全) (Pos 15、16)
18	2388543	脚



Hero 23 トロリーの交換部品図

11.6 サクションシステムの交換部品リスト

POS	注文番号	製品名	数量	POS	注文番号	製品名	数量
1	2230341	吸入ホースセット $\phi 25 \times 800$	1	11	2240018	リターンホース用六角ナット	(1)
2	2230343	リターンホースセット $\phi 12 \times 800$	1	12	2240022	ホースバンド・20	(2)
3	2230342	アルミフィルターセット $\phi 100$	1	13	2240071	スプリングホース $\phi 12 \times 800$	(1)
4	34602	吸入ニップル	(1)	14	2240349	リターンパイプ	(1)
5	2240009	吸入ホース用六角ナット	(1)	15	2240345	フィルタボディアルミ $\phi 100$	(1)
6	2240083	ホースバンド・35	(2)	16-1	2240346	フィルター 0.8mm $\phi 100$	(1)
7	2240343	ガードスプリング	(1)	16-2	2240355	フィルター 0.4mm $\phi 100$ (オプション)	(1)
8	2240078	スプリングホース $\phi 25 \times 800$	(1)	17	2240347	スプリングリング $\phi 100$	(1)
9	2240344	吸入パイプ	(1)				
10	2241111	リターンホース用ニップル	(1)				



サクションシステムの交換部品図

機器の点検

安全上の理由から、必要に応じた頻度で、ただし少なくとも12か月おきに、専門家に本機の点検を依頼し、引き続き正常に動作することを確認してください。

機器を使用していない場合は、点検を、次回の使用開始時まで延期することができます。

さらに、その国の(異なる可能性がある)点検規定およびメンテナンス規定にも従ってください。

不明な点がある場合は、Wagner社のカスタマーサービスまでご連絡ください。



廃棄に関する注意

本機の廃棄、および塗料、洗浄剤の廃棄に関しては、国・地方自治体の消防・電気・安全関連の法規定に従ってください。

製造物責任に関する重要事項

1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局(同業組合および営業監督庁)によって機器全体の使用が禁止されることもあります。

WAGNER製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

保証書

装置は次の製造保証により包括されています。

納入日から12ヶ月(1シフトの場合)或いは6ヶ月(2シフトの場合)以内に設計・材料・製造不良が原因で実質的に使用できない部品及び付属品の修理・交換を無償で行う。

修理交換に関する保証条件は当社の自由裁量で行われる。実施に伴う運賃、工賃、材料費は特別な事情を除きすべて当社で負担される。

下記理由で引き起こされた損傷は保証条項には包括されません;

天地異変による損傷、不適切な使用、購入者或いは第三者による誤った設置・始動、磨耗損耗、不注意な取扱い、不完全な保守点検、不適切な被塗物、代用材料、化学反応、電気化学作用。

ワグナーが製造していない部品に関しては保証条項に入りません。

交換部品の保証期限は拡大延長されませんので受領次第検査して下さい。

製品保証の喪失を避けるため、欠陥は直ちに連絡してください。

製品保証は購入先及び納入先に限定されます。

転売先での修理交換は有償となります。

この保証条項は法的制限は無く、当社の一般取引条件となります。

日本ワグナー・スプレーテック
〒574-0057
大阪府大東市新田西町2-35

TEL:072-874-3561
FAX:072-874-3426
www.wagner-group.com

仕様・部品番号は予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。